

GMAP Internship Report / GMAP インターンシップ報告書

No. 2017-03

I. Basic information / 基本情報

- 1) Name / 名前 : Shoko Yamakawa / 山川 尚子
- 2) Enrolled year / 入学年 : 2017
- 3) Period of internship / インターン期間 : 19 February – 18 March
- 4) Place of internship / インターン場所 : Department of Japanese Studies, Faculty of Language, Nicolaus Copernicus University
- 5) Person who accepted your internship / インターン受入担当者 : Professor Toshikazu Seguchi / 瀬口 利一先生
- 6) Content of work in your internship / インターン中の作業内容 Teaching assistant for Japanese and Japanese culture / 日本語・日本事情教育 TA 実践

II. Details and impressions / 詳細と感想

Including the following points: merits, demerits, lessons, contribution to your future career, personal experience etc.

◆ 詳細

◆ 受け入れ先大学教員の授業補佐

コペルニクス大学には、ポーランド人教師と日本人教師がいるが、私は日本人教師4人の授業補佐を行った。ペアワークやディスカッションに参加したり、会話の見本を務めたりして、授業の補助をした。

◆ 個人担当の授業 以下の学年と日時で、授業計画を作成して実施した。

1 年生 3月15日 4限 (日本の地方ごとの違い)

2 年生 3月15日 2限 (福島震災、エネルギー問題)

3 年生 3月7日 4限 (福島震災、エネルギー問題)、3月14日 4限 (就職活動)

修士1 年生 3月7日 3限 (福島震災、エネルギー問題)、3月14日 3限 (就職活動)

修士2 年生 2月28日 5限 (福島震災)

学年によって内容、難易度を変更して授業を行った。例えば、「福島震災」をテーマとした授業は、学部2年生は日本語の能力がまだ不十分であるため時折英語も交えながら、写真を見せて被災、津波の状況を伝えることに重きを置いた。学部3年生には、事前課題を出し、日本とポーランドのエネルギー事情の違いについて調べてきてもらい、私のプレゼンテーションの中でその知識を問うことで参加してもらい、最終的にはポーランドに原発

を建設することに対し賛否を考えてもらった。修士1年生には、ポーランド国民が原発建設に賛成か反対か、その背景にはどんなことがあるのかについて、2名の学生に予め準備して、発表してもらった。修士2年生にはディスカッションの時間を多く確保し、自分の考えをその場で日本語で話してもらった。

また、テーマの設定は、各学年に第一回目の授業で希望を確認したうえ、担当の先生と相談して、学生が興味を持つような内容で、かつ私だから伝えられることを選定した。

学生が主体的に取り組んでもらうため、授業中に発言する機会を設けたり、ペアワークを導入したり、事前の課題を出したり、一方的な講義にならないよう気を付けた。

◆スピーチコンテストのサポート

第39回日本語弁論大会に出場する3名の学生に対して、原稿の添削、スピーチの練習、質疑応答で想定される質問の検討、当日の引率をしてサポートした。学生らはそれぞれの「好きなもの」をテーマとして発表した。ストーリーだけでなく皆へのメッセージがしっかり伝わるように心がけて指導した。

◆感想

私は教育学の知識がなく、教壇に立って授業をすることも初めてであったが、受入担当の先生が特に指示をせず好きなようにやって良いという自由度の高いスタイルであったため、主体的に行動する能力が身につき、度胸も据わった。日本学科の学生たちが勉強熱心で協力的であったおかげで、私が一方的に教えるだけでなく、ポーランド人と日本人の考え方や風習の違いなど新たな発見もあり、充実した授業になったと思う。外国人の学生たちから直接、原発に対する意見を聞くことができたのは、貴重な機会であった。まだ原発が一つもない、日本から遠く離れた国の学生たちの考え方は興味深く、もともと、関心を持って真剣に考えてくれたことが非常に嬉しかった。

私は単身で海外渡航することも、ヨーロッパへ行くことも初めてで、何もかもが目新しく、とても貴重な経験ができた。

まずは一人で考え、必要があれば周りに助けを求めて準備をすること、複数のタスクを抱えた際には優先順位をつけて時間配分をすること、トラブルがあっても冷静に状況を把握して臨機応変に対応すること等、仕事において重要なことを経験から学べたことは私にとって大きな収穫であった。

生活面では、ポーランド語がわからないことで苦労することが多く、渡航前に勉強しておけばよかったと少し後悔したが、親切な先生方や学生たちに助けていただきながら、海外インターンシップを乗り切ることができた。

インターンシップを終えてポーランドから帰国する際、フライトの遅延で乗り継ぎができないというトラブルに遭ったが、空港のカスタマーセンターの行列に3~4時間並んだ後、落ち着いて、最短で日本へ帰れる乗継便の交渉ができた時には、自分の成長を実感することができた。

最後に、今回のインターンシップは私にとってとても有意義なものとなり、支えてくださったすべての方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。

(Photos)



(Date / 記載日 April 26, 2018)